

富山大学 国際機構「日本語プログラム」上級クラス

授業科目名	会話C2
担当教員	永山 香織 (NAGAYAMA, Kaori)
開講学期曜限	後期 (秋期)・木曜日 3時限
対象	〔総合日本語コース〕 日本語日本文化研修留学生、協定校からの交換留学生 〔日本語課外補講〕 全学の外国人留学生、外国人研究者
単位数	単位は出ません。総合日本語コースでは国際機構長名で履修証明書 (成績記載) を発行します。
授業のねらい	日本人学生との会話を通して、よい話し手であると同時に、よい聞き手になることを目指します。大学生活や日常生活で出会う状況での会話力を伸ばし、より適切に会話の目的が果たせるようにします。また、専門において必要な口頭発話能力 (発表、スピーチ、討論など) の基礎を学びます。
達成目標	(1) 大学生活や日常生活で出会う状況に、適切に対応できるようになる。 (2) 多少複雑な内容についても、わかりやすい描写、説明ができるようになる。 (3) 論理的で説得力のある意見が述べられるようになる。 (4) 人間関係を考慮したコミュニケーションができるようになる。
授業計画 (授業の形式、 スケジュール等)	1 週目 オリエンテーション、経験を話す 2～3 週目 自分や国について話す 4～5 週目 トピックを考える 6～7 週目 物事を多角的に見て意見を述べる 8～9 週目 説得力のある意見を述べる 10～12 週目 状況や仕組みを説明する 13～15 週目 様々な状況に合わせてやりとりをする
授業時間外学修 (事前・事後学修)	事前学修：各回のトピックについて話す内容を考え、必要に応じて資料を Moodle に投稿してください。 事後学修：日本人学生との活動をふり返ります。
キーワード	日本語 中上級 状況への対応 わかりやすい描写・説明 説得力のある意見 よい聞き手
受講上の注意	出席できない場合は、連絡してください。
教科書・参考書等	使用しません。毎回、プリントを配布します。
成績評価の方法	授業への参加度:20%、各回のタスク達成度:40%、発表の結果:40% (欠席が多い場合は評価対象外とします。) *日本語課外補講は成績評価を行いません。出席回数、試験の点数を記録します。
関連科目	
備考	前期(春期)と後期(秋期)は扱うテーマやトピックが異なります。